

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和 6 年 1 月 26 日

2. 認定事業適応事業者の名称

NISSHA プレシジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

NISSHA グループは、グローバル社会の一員として、地球環境に配慮した企業活動により「企業の持続的な成長」と「持続可能な社会」を目指している。「持続可能な社会」に向けたリスクの低減の面では、2050年のカーボンニュートラルを見据え、2030年にCO2総排出量の30%削減（2020年比）を実現することを目指し、電力消費の削減・再生可能エネルギーの導入などに取り組んでいる。

事業適応計画の着実な実行を行うことで、基準年度と比較して、炭素生産性を目標年度に824.0%向上させることを目標とする。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

炭素生産性を 824.0%向上することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とする。

(4) 事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

電子部品・デバイス・電子回路製造業（28）

計画の対象となる事業は主に冷媒ガスセンサーを製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

本社・姫路工場へ新製品「冷媒ガスセンサー」を製造する為の設備導入を行い、付加価値額を増大させる。なお、設備を新規導入する為電力使用量は増加するが、工程削減による効率化および省エネ性能の高い設備を選定することで、製品を製造する為の電力使用量は

従来比 19 t/年削減できる。

また、2022年9月に加賀工場では使用する電力の一部をカーボンフリー電力に切替済であるが、2023年度も加賀工場での一部カーボンフリー電力への切替を継続する。目標年度である2024年度にはカーボンフリー電力の切替対象を広げ、本社・姫路工場と加賀工場において、全量カーボンフリー電力に切り替えを行い、CO2削減を行う。

以上により、会社全体で炭素生産性を824.0%向上させていく。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2024年1月

終了時期 2024年12月